

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	広島女学院大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ヒロシマジョガクインダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F134310109875
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	広島県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	人文学部、人間生活学部
	担当教職員名・役職	吉田順子准教授、田頭紀和教授
	受講者数実績年度	令和3年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	69
	受入企業等数	39
	受入企業等名	広島県中小企業家同友会加盟企業(20社)、(株)アンフィニ広島、グランドプリンスホテル広島、大興グループ、(株)ツルハグループドラッグ&ファーマシー西日本、(株)ディスコ広島支社、(株)テックアイエス、広島エフエム放送(株)、(株)マエダハウジング、(株)ライフステージ、(株)ユニバーサル建設中国支店、(株)ヤマサキ、(株)ありがとうサービス、(福)IGL学園福祉会、(有)パルフェ、(福)FIG福祉会チェリーゴート、(株)High Commit、(株)丸久、(株)たびまちゲート広島、(株)ホライズン・ホテルズ
	インターンシップの分類	6.低学年(大学1年次~2年次程度)からのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ 10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	1.当該インターンシップは、教養教育科目として実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学学部2年 大学学部3年
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学2単位

	2-5.上記回答内容に関する詳細	①ビジネス活動とそこで働く人々とのビジネス・ワークについて「インターンシップ（就業体験学習）」を通じて理解を深め、自らの職業意識の形成を図るとともに、職業適性、職業生活設計、職業選択について契機とすることが望まれる。②事前学習として、ビジネス組織についての理解、ビジネスコミュニケーションの基本について理解を深める。受講生は、夏期期間中に1～3週間程度の期間で、本学独自の研修先での「インターンシップ」に参加することが義務づけられる。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	①自己紹介の練習。②学外実習マナーノートの熟読。③経験者への質問事項をまとめる。④テーマについてまとめてくる。⑤外部講師の所属企業について調べる。⑥企業・業界研究の目的をまとめる。⑦敬語の復習を行う。⑧配布資料やこれまでの授業から、社会人にふさわしいビジネスマナーとは何かを考える。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	①プレゼンテーションを作成し練習する。②報告書を作成する。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	①状況確認②担当社員との関わりの確認③事前に立てた目標の達成度と達成予想の確認④課題(困っていること)の確認⑤学生への激励
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	4.その他
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	RCC就職レディネス・チェックをインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている。
	4-3.上記回答内容に関する詳細	
	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい

要素⑤	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
		2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
5-3.上記回答内容に関する詳細		
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している
		2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している
		4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
		7.その他
6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	広島県中小企業家同友会加盟企業と協同したインターンシップにおいて、企業を交えて合同の事前・事後学習の機会を設けている。「①何のために働くのか、②自分の課題は何か、③この度の研修で何をgetしたいのか」を全員が考え、共通の課題とすることで、どの企業のインターンシップに参加しても同様の学習効果が得られるよう工夫している。	
6-3.上記回答内容に関する詳細		
7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://asm-ediea.com/hju/open/ja/syllabuses	
問い合わせ先	大学等名	広島女学院大学
	担当部署名	キャリア支援センターキャリア支援課
	担当者役職名	課長
	担当者氏名	宇都宮真紀
	電話番号	082-228-6675
	メールアドレス	career@gaines.hju.ac.jp